



2016年11月30日

PI 1101 OE

ボッシュの二輪車向けシステムが ASEAN NCAP の セーフティテクノロジー アワードを獲得 車両の安全技術に関するパイオニアとして二輪車ライダー の人命救助に貢献するシステムの導入を促進

- ▶ 車両の安全性向上のためのボッシュの継続的な取り組みが評価
- ▶ 受賞実績を誇るボッシュの二輪車向け技術: ABS、MSC、サイドビュー アシスト
- ▶ モーターサイクル用 ABS がひとつの世界的な標準に
- ▶ マレーシアなど新興成長市場の小型二輪車向けに次世代 ABS 10 を開発

クアラルンプール、マレーシア – ボッシュが「Safety Technology Award: Innovative Motorcycle Technology for Safer Riding (セーフティテクノロジー アワード: さならる走行安全性の向上のための革新的な二輪車向け技術)」を獲得しました。この賞は、より安全な走行を実現するための、革新的な二輪車向け技術開発へのボッシュの継続的な取り組みが評価され、New Car Assessment Program for Southeast Asian Countries (ASEAN NCAP: ASEAN 地域の新车アセスメントプログラム) から授与されたものです。対象となった技術には、モーターサイクル用アンチロックブレーキシステム (ABS)、モーターサイクル用スタビリティコントロール (MSC)、サイドビュー アシストなどがあります。「ボッシュは、二輪車向けの安全技術に関するマーケットリーダーとして、走る喜びはそのままに、走行の安全性と快適性の向上に貢献する革新的な技術を提供してきました」とボッシュのモーターサイクル&パワースポーツ事業部門を率いるジェフ・リアッシュ (Geoff Liersch) は述べます。

ASEAN NCAP とは、Malaysian Institute of Road Safety Research (MIROS) と Global New Car Assessment Program (グローバル NCAP) が共同で策定した自動車の安全評価プログラムで、新车の安全性の評価において国際的に最も影響を持つプログラムのひとつです。

ボッシュが ASEAN NCAP より賞を授与するのは今回が 2 度目です。1 度目は 2014 年、Electronic Stability Control (ESC: 横滑り防止装置) と呼ばれる Electronic Stability Program (ESP®) での受賞でした。[これは、欧州で 8,500 人以上の命を救い、25 万件以上の交通事故を防止した実績を誇るボッシュが考案した技術](#)です。マレーシア



政府より発表があったとおり、マレーシアは ASEAN 諸国の中で初めて、標準安全装備として全ての乗用車への ESC 装着義務化を決定しています。

東南アジア諸国は、インドや中国に続く大きな二輪車市場の規模を誇り、走行安全性の向上への需要の拡大は、特にこのような新興成長市場で顕著です。その背景には、インドネシアとタイだけで、毎年 2 万 1,000 人が二輪車事故で命を落としているという現状があります。また、マレーシアでは 2015 年に 1 日あたりの交通死亡者数が約 18 人に達しました。これは ASEAN 加盟国中で 3 番目に高い数値で、さらにこの事故のうち 60%以上に二輪車が関与しています¹。

ボッシュ・マレーシアのマネージングディレクターを務めるサイモン・ソン (Simon Song) は、「マレーシアにおける最も一般的な交通手段の一つが二輪車であることを考慮すると、モーターサイクル用 ABS の標準装備が義務化されることは私たちの望みとなってきます。ABS 装備の義務化は、マレーシアの高い交通事故死亡率の低減に貢献すると考えています」と述べています。

モーターサイクル用 ABS がひとつの世界的な標準に

ボッシュの事故調査研究は、もしすべての二輪車に ABS が標準装備されていれば、このような二輪車事故の約 4 分の 1 は防止できたことを示しています。ABS は、車輪がロックするのを防ぐことで車両の安定性を保ち、ブレーキング時に危機的な状況が起きた際にも、ライダーが恐れることなくより迅速に反応できるようにします。世界の多くの国々でモーターサイクル用 ABS の装備の奨励が進んでいます。

欧州連合域内ではモーターサイクル用 ABS 装備の義務化がすでに施行されており、2016 年の初めからは、エンジン排気量が 125 cc を超えるすべての新型車に適用されています。同様の規制は日本では 2018 年から、台湾では 2019 年から適用される予定です。インド政府も今年、2018 年 4 月以降、すべての新型車にモーターサイクル用 ABS を標準装備として導入することを発表しました。

「今回のインドでの法制化は、二輪車の安全性におけるひとつのマイルストーンであり、二輪車が一般的な交通手段となっている東南アジアの多くの国々にも大きな影響を与える可能性があります」とサイモン・ソンは述べます。

ABS からサイドビュー アシストまで

ボッシュは、1995 年から 200 万台以上のモーターサイクル用 ABS を生産してきました。最新のボッシュの ABS 10 は、新興成長市場向けに特化して設計されたバージョンで、小型化・軽量化が達成されたことにより、メーカーにとっても小型二輪車により搭載しやすいシステムとなっています。同システムを搭載した初の量産モデルとして、カワサキ Versys-X 300 ABS が世界で販売される予定です。さらに、スズキ GSX-S125 ABS の 2018 年モデルにもこのシステムが搭載される予定です。

¹ Global status report on road safety 2015、世界保健機関(WHO)



ボッシュは 2013 年、世界初の二輪車向け「オール イン ワン」型セーフティシステムとなる、モーターサイクル用スタビリティコントロール(MSC)の開発を成し遂げています。このシステムは、傾斜角など二輪車特有のパラメーターを監視することで、走行状況に合わせて即座に電子制御やアクセルの介入を調整します。これにより、コーナーにおけるブレーキング時の二輪車のローサイドや意図しない車両の立ち直りを防ぎます。しかし、二輪車向けセーフティシステムの開発はこれに留まりません。ボッシュは、世界初のアドバンスド ライダー アシスタンス システムとなるサイド ビュー アシストを開発しました。超音波センサーを利用するこのサイド ビュー アシストは、死角を検知することで、ライダーが車線変更時に衝突を回避できるように支援します。

ボッシュはグローバル NCAP が展開する「Stop the Crash」キャンペーンのパートナー

ボッシュは、3 回目となる、グローバル NCAP による「Stop the Crash(衝突防止)」キャンペーンのパートナーを務めています。このイニシアチブは、国連の「交通安全のための行動の 10 年」が掲げる、世界中で 2020 年までに交通事故を 50%削減するという目標の一環として展開されています。2013 年だけでも交通事故によって約 125 万人が亡くなっており、毎年多くの人命が失われています。マレーシアにおける「Stop the Crash」キャンペーンは 11 月 29 日と 30 日の二日間にわたって開催され、ボッシュはモーターサイクル用 ABS の機能や利点を紹介しました。

報道関係対応窓口:

Zairynn Yazmi
Corporate Communications
zairynn.yazmi@my.bosch.com
電話: +60 (3) 7966 3137

ボッシュ・マレーシアについて

ボッシュは1923年からマレーシアでロバート・ボッシュSdn Bhdとして事業を展開しています。現在はセランゴール、ペナン、ジョホールにオフィスを設け、モビリティソリューション、工業技術、消費財、エネルギー、建築関連テクノロジーまで幅広い分野を手掛けています。ペナンにはカーマルチメディアシステム、電動工具、電動ステアリングの3つの製造部門を擁し、2015年の売上は6億6,400万RM(1億5,300万ユーロ)、従業員数も2,600人以上を超えるまでになっています。詳しくは、www.bosch.com.myと<http://www.facebook.com/BoschMalaysia>をご覧ください。

世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2015年の従業員数は約37万5,000人(2015年12月31日現在)、2015年の売上高は706億ユーロを計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・建築関連テクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社 440 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売／サービスパートナーを含む世界的な製造・販売ネットワークは約 150 カ国を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界約 118 の拠点で 5 万 5,800 人の従業員が研究開発に携わっています。私たちボッシュ・グループはコネクテッドライフに向けたイノベーションの提供を戦略的な目標に定め、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。

ボッシュの起源は、1886年にロバート・ボッシュ(1861~1942年)がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グループの企業としての自立性を保証するものであり、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、



BOSCH

将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbH の株式資本の92%は慈善団体であるロバート・ボッシュ財団が保有しています。議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っており、残りの株式は創業家であるボッシュ家とロバート・ボッシュ GmbH が保有しています。

さらに詳しい情報は 以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター (ドイツ語)

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/Boschjapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)